

2024 年度(令和 6 年度) 滋賀県中小企業団体中央会 ・ 龍谷大学 産学地域連携 活動計画について

2024 年度(令和 6 年度) 産学地域連携活動計画について

2014 年(平成 26 年) 3 月に締結した「産学地域連携基本協定」に基づき、2024 年度(令和 6 年度)においても、ものづくり企業への「技術と人材の両面支援」事業を実施する。また、急速な経営環境の変化により、様々な難局に直面しているものづくり中小企業・小規模事業者に対して、多様な経営課題の解決に資する有効な事業を展開していく。

① ものづくり中小企業・小規模事業者と大学(教職員・学生)との接点づくり

県内ものづくり中小企業・小規模事業者の企業 PR、また、大学が保有する研究シーズとのマッチングや学生の多様なキャリア形成を目的に、教職員・学生との連携交流の機会を創出する。

継続事業として、先端理工学部 R-Gap「プロジェクトリサーチ」において、産学連携コンソーシアムから学生が取り組むプロジェクトを審査、表彰する機会を通じて、学生と企業が直接、意見交換をする先端理工学部との連携事業を展開する。

また、龍谷大学が毎年開催している「新春技術講演会」において、ポスターセッションを開催しており、40~50 件程度の研究シーズ出展がある。ここには、教職員、研究室学生が説明員として参加していることから、会員企業(特に実務者、技術者)に対し、教職員、学生と直接交流できる機会として、積極的に参加するよう案内する。

② 企業と学生および教職員との課題解決型の取り組みへの支援

大学や教職員・学生に対し、県内ものづくり企業の実情や魅力への理解をさらに深めることを目的に、上記先端理工学部 R-Gap「プロジェクトリサーチ」において、昨年度募集した企業が抱える経営課題などをベースにしたテーマを提示し、学生に対して取り組みを促し、企業と大学教員および学生とのより深い連携交流を目指す。

③ ものづくり中小企業・小規模事業者の魅力発信・人材確保への支援

滋賀県内ものづくり中小企業の魅力の発信および龍谷大学生の中小企業への関心・認知度を高めることを目的とした事業を行う。

県内ものづくり企業の会社および工場に先端理工学部の教職員および学生を招待し、会社見学や意見交換・ワークショップ等を行い、働く企業の社員(龍谷大学卒の社員)との交流機会を提供する。

また、中央会 HP「産学連携コンソーシアム会員企業紹介ページ」の周知広報、PR 活用を行う。

④ ものづくり中小企業・小規模事業者の喫緊の経営課題への支援

県内ものづくり中小企業・小規模事業者が抱える喫緊の経営課題（DX/GX 推進、SDGs への取組、原油価格・物価高騰、海外進出など）に対する情報提供を行い、課題解決に向けた気づきを提供する。

⑤ ものづくり中小企業・小規模事業者への情報提供

県内ものづくり中小企業・小規模事業者の産学連携ニーズの喚起と持続的な連携案件の創出に向け、中央会および龍谷大学から、ものづくり企業に有効な支援施策情報や大学の動き、学部や教員の研究シーズに係る活動状況等の配信を行う。

また、可能な範囲で会員企業を訪問し、時宜に応じた情報の提供および事業実施に係る意見聴取を行う。

⑥ ものづくり中小企業・小規模事業者への経営革新・技術開発等支援

県内ものづくり中小企業・小規模事業者に対して、経営および技術的課題、また知的財産権への課題等の発掘（ヒアリング）を行う。相談内容に応じて、中央会ものづくり支援室から、龍谷大学の産学連携コーディネーターや教職員への橋渡しを行い、事業者と大学とのマッチング“つなぐ支援”を行う。

⑦ 龍谷大学関係者・会員同士の交流機会の創出および会員増強

産学連携コンソーシアム会員間および龍谷大学関係者との交流・情報共有の場として、年度末に「産学連携コンソーシアム活動成果報告会」を開催する。また、この報告会には、非会員の「ものづくり補助金採択企業」にも案内し、コンソーシアムの活性化に資するよう、新たな会員獲得の一助とする。